

主要高血圧治療薬一覧

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項

適応

降圧薬としての用量

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

副作用として動悸、顔面紅潮など血管拡張作用に付随した症状、便秘など。重大な副作用として僧帽弁狭窄、大動脈弁狭窄、肺高血圧、重篤な腎機能障害、重篤な肝機能障害、うっ血性心不全、高度左室収縮機能障害では慎重投与

作用を減弱させる可能性がある併用

リファンピシン、フェノバルビタール、カルバマゼピン（酵素誘導による、代謝の促進と血中濃度低下、作用減弱）

代謝、排泄と半減期

肝代謝を主体とするが小腸でも代謝される可能性がある。代謝酵素はCYP3A4。未変化体の尿中排泄は認められない。しかし腎機能低下者での薬物動態の変化が報告されている薬物もある。半減期は個々の薬剤を参照

一般名：アムロジピン

製品名：ノルバスク、アムロジン

薬価：75.6円/5mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回2.5–5mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

T_{max} 7.3時間、排泄半減期33時間と最も長時間作用型であり、定常状態に達するまで約1週間を要する。ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上は記載なし

代謝、排泄と半減期

肝代謝だが尿中未変化体排泄率約7%，肝硬変（Child A, B）患者では最大血中濃度の上昇が認められる。39.4時間（定常状態に達するには1週間程度を要する）

一般名：ニフェジピン

製品名：アダラートカプセル

薬価：25.4円/10mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症

降圧薬としての用量

高血圧以外の適応症

禁忌

他剤への重要な影響

CYP3A4で代謝される薬剤の代謝に影響する可能性がある（タクロリムスなど）。ジゴキシンの血中濃度を上昇させる

作用を増強させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬はCYP3A4により代謝される。したがってカルシウム拮抗薬とこの酵素により代謝される薬剤は相互作用をきたす。添付文書上の記載には差があるものの、アゾール系抗真菌剤、マクロライド系抗生物質、シクロスボリン、タクロリムス、HIVプロテアーゼ阻害薬、シメチジン、グレーブフルーツジュースなどはおむねカルシウム拮抗薬の代謝を抑制し、作用を増強する可能性はある。

その他

文献

高血圧以外の適応症

狭心症

禁忌

ジヒドロピリジン系化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人

他剤への重要な影響

添付文書上は記載なし

作用を増強させる可能性がある併用

リトナビル

その他

文献

ALLHAT, VALUE, ASCOT, CASE-J, ACCOMPLISH

高血圧以外の適応症

狭心症

禁忌

ジヒドロピリジン系化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人、心原性ショック、急性心筋梗塞

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

基本的に急速、かつ短期の降圧、血行動態の変化をきたすため、現在降圧薬としての使用は推奨されない。舌下投与も同様の理由で行うべきではない（口腔粘膜からは吸収されないが、結局嚥下により小腸より吸収され、急速な作用を発現する）

作用を減弱させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝、1時間（10mg）

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

一般名：ニフェジピン徐放錠**製品名：アダラートL****薬価：34.5円/20mg**適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症

高血圧以外の適応症

狭心症

降圧薬としての用量

1回10–20mg、1日2回

禁忌

ニフェジピンと同様

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

アダラートカプセルよりは長時間作用型で、血行動態の変動も少ないが、急速な血管拡張作用に伴う症状、血圧の変動が認められるときは、より長時間作用型のニフェジピン（アダラートCR）が望ましい

作用を減弱させる可能性がある併用

ニフェジピンと同様

作用を増強させる可能性がある併用

ニフェジピンと同様

代謝、排泄と半減期

肝代謝、3.7時間（20mg）

その他

ニフェジピンと同様

文献

STONE, J-MIND, JMIC-B

一般名：長時間作用型ニフェジピン徐放錠**製品名：アダラートCR****薬価：77.1円/40mg**適応

本態性高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症

高血圧以外の適応症

狭心症、異型狭心症

降圧薬としての用量

1日1回20–40mg

禁忌

ニフェジピンと同様

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

他剤への重要な影響

ニフェジピンと同様

作用を減弱させる可能性がある併用

ニフェジピンと同様

作用を増強させる可能性がある併用

ニフェジピンと同様

代謝、排泄と半減期

肝代謝、血中の未変化体濃度は二相性を示す。腎機能低下高血圧患者で最高血中濃度、AUCの上昇が報告されているが、用量調節の必要性は明らかではない

その他

ニフェジピンと同様

文献

INSIGHT, ACTION（類似のニフェジピンGITSによる。本邦では発売されていない）

一般名：ニソルジピン**製品名：バイミカード****薬価：88.4円/10mg**適応

高血圧症、腎血管性高血圧症、腎実質性高血圧症

高血圧以外の適応症

異型狭心症、狭心症

*ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

降圧薬としての用量

1日1回5-10mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝、9.8時間(10mg)

禁忌

ジヒドロピリジン系化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人、心原性ショックの患者、イトラコナゾール投与中、ミコナゾール投与中の患者

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を増強させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

その他

文献

一般名：ニトレングピン

製品名：バイロテンシン

薬価：73.2円/10mg

適応

高血圧症、腎実質性高血圧症

高血圧以外の適応症

狭心症

降圧薬としての用量

1日1回5-10mg

禁忌

妊娠または妊娠している可能性のある婦人

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を増強させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

その他

文献

Syst-Eur

一般名：ニカルジピン

製品名：ペルジピン

薬価：13.3円/10mg

適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

禁忌

頭蓋内出血で止血が完成していないと推定される患者、脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進している患者、妊娠または妊娠している可能性のある婦人

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

基本的に急速(最高血中濃度達成投与後1時間)、かつ短期の降圧、血行動態の変化をきたすため、現在降圧薬としての使用は推奨されない

作用を減弱させる可能性がある併用

作用を増強させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

その他

文献

NICS-EH

一般名：ニカルジピン徐放錠

製品名：ペルジピンLA

薬価：37.1円/40mg

適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量	禁忌
1回20–40mg、1日2回	ニカルジピンと同様
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ニカルジピンと同様
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用
ニカルジピンと同様	ニカルジピンと同様
代謝、排泄と半減期	その他
肝代謝、7.6時間(40mg)	ニカルジピンと同様
一般名：ニルバジピン	
製品名：ニバジール	
薬価：37.5円/4mg	
適応	高血圧以外の適応症
本態性高血圧症	なし
降圧薬としての用量	禁忌
1回2–4mg、1日2回	頭蓋内出血で止血が完成していないと推定される患者、脳卒中急性期で頭蓋内圧が亢進している患者、妊娠または妊娠している可能性のある婦人、ジヒドロピリジン系化合物に対し、過敏症の既往
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照
代謝、排泄と半減期	その他
10.9時間(4mg)	文献
一般名：アゼルニジピン	
製品名：カルブロック	
薬価：76.1円/16mg	
適応	高血圧以外の適応症
高血圧症	なし
降圧薬としての用量	禁忌
1日1回8–16mg	本剤成分または含有成分で過敏症の既往歴、HIVプロテアーゼ阻害薬投与中、アゾール系抗真菌剤投与中、妊娠または妊娠の可能性のある婦人
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照。グレーブフルーツジュースは服用中禁止、他にメシリ酸イマチニブ、メシリ酸デラビルジン、ベンゾジアゼピン系薬剤、経口黄体・卵胞ホルモン(経口避妊薬など)(CYP3A4阻害による)、クエン酸タンドスピロン(中枢性降圧作用による降圧作用の増強)
代謝、排泄と半減期	その他
肝代謝、6.1時間(8mg)。腎機能低下患者でAUCの増加が認められる。しかし軽度–中等度の肝機能障害患者では薬物動態の変化は認められない	CAPD施行中の患者の透析排水の白濁

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

一般名：マニジピン	製品名：カルスロット	薬価：79.1円/20mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症	なし	
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1日1回10-20mg	妊娠または妊娠の可能性のある婦人	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>
肝代謝、1.5時間(α)、7.3時間(β)	CAPD 施行中の患者の透析排水液の白濁	PATE-HT

一般名：エホニジピン	製品名：ランデル	薬価：75.9円/40mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症、腎実質性高血圧症	狭心症	
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1日20-40mg、1-2回に分割、最大用量60mg	妊娠または妊娠の可能性のある婦人	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>
肝代謝、2.0時間	CAPD 施行中の患者の透析排水液の白濁	JATOS

一般名：シルニジピン	製品名：アテレック、シナロング	薬価：77.7円/10mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症	なし	
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1日1回5-10mg、最大用量20mg	妊娠または妊娠の可能性のある婦人	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>
肝代謝(CYP3A4のみならずCYP2C19の関与)、尿中未変化体(-)、1.1時間(α)、8.1時間(β)	CARTER	

一般名：アラニジピン	製品名：サブレスタ	薬価：66.3円/10mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症	なし	

降圧薬としての用量

1日1回5–10mg、最大用量20mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照。本剤は1日1回投与とされているが、半減期は活性代謝物を含めても3時間程度

作用を減弱させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

未変化体、活性代謝物とともに肝代謝、1.1時間（未変化体）、3.3時間（活性代謝物）（10mg）

禁忌

本剤および類似化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を増強させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

その他**文献****一般名：ベニジピン****製品名：コニール**

薬価：66.6円/4mg

適応

高血圧症、腎実質性高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回2–4mg、最大用量8mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照。本剤は1日1回投与とされているが、排泄半減期1–1.7時間、 T_{max} 1時間と薬物動態学的には短時間作用型である。血圧の変動に留意すべきである

作用を減弱させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝、1.7時間（4mg）

高血圧以外の適応症

狭心症

禁忌

心原性ショック、妊娠または妊娠の可能性のある婦人

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

作用を増強させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

その他**文献**

COPE（進行中）

一般名：フェロジピン**製品名：スプレンジール**

薬価：38.3円/5mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1回2.5–5mg、1日2回、最大用量1回10mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照。本剤は比較的短時間作用型であり、急速な血圧の変動に注意（ T_{max} は1–1.4時間程度、排泄半減期は2–3時間）

作用を減弱させる可能性がある併用

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝、2.7時間（10mg）

高血圧以外の適応症

なし

禁忌

ジヒドロピリジン系化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人、心原性ショック

他剤への重要な影響

ジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照

その他**文献**

HOT

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

一般名：バルニジピン	製品名：ヒポカ	薬価：91.2円/15mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症	なし	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回10-15mg	妊娠または妊娠している可能性のある婦人	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ジビドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	ジビドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ジビドロピリジン系カルシウム拮抗薬に共通する事項を参照	シメチジン、アゾール系抗真菌剤、マクロライド系抗生物質、HIVプロテアーゼ阻害薬、グレープフルーツジュースなど（代謝酵素阻害）	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
肝代謝、6.0時間（15mg）		

ベンゾジアゼピン系カルシウム拮抗薬		
一般名：ジルチアゼム	製品名：ヘルベッサー	薬価：26.5円/60mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症（軽症-中等症）	狭心症、異型狭心症	
降圧薬としての用量	禁忌	
1回30-60mg、1日3回	重篤なうっ血性心不全、第2度以上の房室ブロック、洞不全症候群、本剤および類似化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
短時間作用型ニフェジピンほどではないが、基本的に急速、かつ短期の降圧、血行動態の変化をきたすため、現在降圧薬としての使用は推奨されない	フェニトイン、タクロリムス、シクロスボリン、ビノレルビン、トリアゾラム、ミタゾラム、カルバマゼピン、セリギリン、テオフィリン、アブリソル、シロスタゾールの血中濃度上昇（代謝酵素CYP3A4の阻害による）	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
リファンピシン（代謝酵素誘導）	ジギタリス製剤、抗不整脈薬、β遮断薬（伝導障害）、シメチジン、HIVプロテアーゼ阻害薬、イトラコナゾール、マクロライド系抗生物質、グレープフルーツジュースなど（代謝酵素阻害）	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
肝代謝、4.5時間（60mg）		NORDIL

一般名：ジルチアゼム徐放カプセル	製品名：ヘルベッサーR	薬価：111.8円/200mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症（軽症-中等症）	狭心症、異型狭心症	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回100-200mg	ジルチアゼムと同様	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ジルチアゼムと同様	ジルチアゼムと同様	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ジルチアゼムと同様	ジルチアゼムと同様	

代謝、排泄と半減期

肝代謝、7.0時間(100mg)

その他文献

NORDIL

アンジオテンシン受容体拮抗薬**アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項**適応降圧薬としての用量副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

重大な副作用として、アナフィラキシー様症状、血管浮腫、肝炎、腎機能低下、低血糖、横紋筋融解、汎血球減少、ショック、失神、高カリウム血症(いずれも頻度不明)の報告がある。両側腎動脈狭窄、片腎かつ腎動脈狭窄、高カリウム血症での投与を避ける

作用を減弱させる可能性がある併用

非ステロイド抗炎症剤

代謝、排泄と半減期高血圧以外の適応症禁忌

本剤および類似化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人、重篤な肝機能障害

他剤への重要な影響

リチウム併用でリチウム血中濃度の上昇、カリウム製剤やカリウム保持性利尿薬との併用でカリウム濃度の上昇

作用を増強させる可能性がある併用

利尿薬(サイアザイド系、サイアザイド系類似、ループ)

その他文献**一般名：ロサルタン****製品名：ニューロタン**

薬価：168.0円/50mg錠

適応

高血圧症、高血圧症および蛋白尿を伴う2型糖尿病における糖尿病性腎症

降圧薬としての用量

1日1回、25–50mg、最大投与量100mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、ロサルタン2時間、活性代謝物4時間(25mg、50mg)、腎機能低下患者では最高血中濃度上昇およびAUC増加

高血圧以外の適応症禁忌

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

その他文献

RENAAL, LIFE

一般名：カンデサルタン**製品名：プロプレス**

薬価：162.1円/8mg錠

適応

高血圧症、腎実質性高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、4–8mg、最大投与量12mg。腎実質性および腎障害を伴う場合は1日1回2mgから開始し、最大用量8mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項に加えて、間質性肺炎、無顆粒球症の報告あり

高血圧以外の適応症

慢性心不全

禁忌

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

作用を減弱させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝（CYP2C9）および腎排泄、活性代謝物2.0時間（ α ）、11.2時間（ β ）

一般名：バルサルタン

製品名：ディオバン

薬価：136.2円/80mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、40–80mg、最大投与量160mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項に加えて、間質性肺炎、無顆粒球症の報告あり

作用を減弱させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝（CYP2C9）および腎排泄、尿中未変化体排泄率10%，3.9時間（80mg）

作用を増強させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

その他

文献：

SCOPE, CASE-J

一般名：テルミサルタン

製品名：ミカルディス

薬価：154.2円/40mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、20–40mg、最大投与量80mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

非ステロイド抗炎症剤（COX-2選択的阻害剤を含む）

代謝、排泄と半減期

肝代謝、20.3時間（40mg）、腎機能低下患者での蓄積なし、肝機能障害（肝硬変Child A, B）で最大血中濃度上昇とAUC増加

高血圧以外の適応症

禁忌

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

その他

文献

VALUE, JIKEI HEART,
SMART, VALISH（進行中）

一般名：オルメサルタン

製品名：オルメテック

薬価：155.0円/20mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、10–20mg、最大投与量40mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

高血圧以外の適応症

禁忌

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期	その他	文献
肝代謝および腎排泄、6.3時間(20mg)		COLM(進行中)
一般名：イルベサルタン	製品名：アバプロ、イルベタン	薬価：154.2円/100mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症		
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1日1回、50–100mg、最大投与量200mg	アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照	アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照	アンジオテンシン受容体拮抗薬に共通する事項参照	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>
肝代謝(CYP2C9)、13.6時間(100mg)、腎機能低下患者、肝機能低下患者での蓄積性は認められていない	IDNT、IRMA2	

合剤(利尿薬とアンジオテンシン受容体拮抗薬)		
一般名：ロサルタン/ヒドロクロロチアジド	製品名：プレミネント	薬価：171.0円/錠
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症(第一選択薬とはしない)		
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1日1回、ロサルタン50mg/ヒドロクロロチアジド12.5mg	本剤および類似化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人、重篤な肝機能障害、無尿あるいは透析患者、急性腎不全、低ナトリウム血症、低カリウム血症	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
各薬剤の項を参照	サイアザイド系利尿薬およびアンジオテンシン受容体拮抗薬の項を参照。両剤ともリチウム血中濃度を上昇させる	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
サイアザイド系利尿薬およびアンジオテンシン受容体拮抗薬の項を参照	サイアザイド系利尿薬およびアンジオテンシン受容体拮抗薬の項を参照	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬

ACE阻害薬に共通する事項

適応

降圧薬としての用量

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

副作用として咳、重篤な副作用として血管浮腫、高カリウム血症、腎機能低下。両側腎動脈狭窄、片腎かつ腎動脈狭窄、高カリウム血症、手術前24時間以内の投与を避ける

作用を減弱させる可能性がある併用

非ステロイド抗炎症剤

代謝、排泄と半減期

高血圧以外の適応症

禁忌

本剤および類似化合物への過敏症既往、妊娠または妊娠の可能性のある婦人、血管浮腫の既往、リポサーバー、セルソーバ、イムソーバなどの吸着器を用いたアフェレーシス施行、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いた透析中

他剤への重要な影響

リチウム併用でリチウム血中濃度の上昇、カリウム保持性利尿薬との併用でカリウム濃度の上昇

作用を増強させる可能性がある併用

利尿薬（サイアザイド系、サイアザイド系類似、ループ）、カリジノゲナーゼ製剤（カリクレインなど）

その他

文献

一般名：カプトプリル

製品名：カプトリル

薬価：23.8円/12.5mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管高血圧症、悪性高血圧症

降圧薬としての用量

1日3回、1回12.5–25mg、最大用量150mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ACE阻害薬に共通する事項に加えて、本剤にはアロブリノールとの併用でStevens-Johnson症候群など過敏症状の発症が報告されている

作用を減弱させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

腎排泄、尿中排泄率63%（24時間）、0.47時間（50mg）

高血圧以外の適応症

禁忌

ACE阻害薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

文献

心不全、心筋梗塞後の左室機能低下患者の予後を改善するという臨床試験の報告がある
CAPP

一般名：長時間作用型カプトプリル

製品名：カプトリルR

薬価：38.8円/18.75mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症

降圧薬としての用量

1日2回、1回18.75–37.5mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

カプトプリル参照

作用を減弱させる可能性がある併用

カプトプリル参照

高血圧以外の適応症

禁忌

カプトプリル参照

他剤への重要な影響

カプトプリル参照

作用を増強させる可能性がある併用

カプトプリル参照

代謝、排泄と半減期	その他	文献
腎排泄、尿中排泄率42.5% (24時間)、2.1時間 (25mg)	カプトブリル参照	
一般名：エナラブリル	製品名：レニベース	薬価：83.7円/5mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管高血圧症、悪性高血圧症	慢性心不全 (軽症–中等症)	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回、5–10mg	ACE阻害薬に共通する事項参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ACE阻害薬に共通する事項に加えて、リファンビシンによる効果減弱 (血中濃度低下) の記載がある	ACE阻害薬に共通する事項参照	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
体内で活性代謝物エナラブリラートへ。活性代謝物は腎排泄、尿中活性体排泄率64% (48時間、10mg)、腎機能低下患者で最大血中濃度の上昇とAUC増加、14時間 (10mg)	心不全、心筋梗塞後の左室機能低下患者の予後を改善する という臨床試験の報告がある	ANBP2、いくつかのRCTで併用薬として
一般名：ペリンドブリル	製品名：コバシル	薬価：85.9円/2mg
適応	高血圧以外の適応症	
高血圧症		
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回、2–4mg、最大用量8mg	ACE阻害薬に共通する禁忌参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ACE阻害薬に共通する事項に加えて、リファンビシンによる効果減弱 (血中濃度低下) の記載がある	ACE阻害薬に共通する事項参照	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
体内で活性代謝物ペリンドブリラートへ。活性代謝物は肝代謝 (グルクロン酸抱合) および腎排泄、尿中活性体排泄率3–10% (24時間)、腎機能低下患者で最大血中濃度の上昇とAUC増加	冠動脈疾患患者の予後の改善、利尿薬との合剤 (併用) が糖尿病患者の冠動脈疾患リスク、脳卒中再発リスクを減少させると いう臨床試験の報告がある	PROGRESS、EUROPA、ADVANCE
一般名：リシノブリル	製品名：ロンゲス、ゼストリル	薬価：63.3円/10mg (ゼストリル)
適応	高血圧以外の適応症	
高血圧症	慢性心不全 (軽症–中等症)	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回、10–20mg	ACE阻害薬に共通する事項参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

代謝、排泄と半減期	その他	文献
腎排泄、尿中未変化体排泄率21–27%、腎機能低下患者で最大血中濃度の上昇、半減期延長とAUC増加、7.6時間(10mg)	心不全患者の予後を改善する という臨床試験の報告がある	ALLHAT
一般名：アラセブリル	製品名：セタブリル	薬価：37.9円/25mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症、腎性高血圧症		
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回または2回、1日用量25–75mg、最大用量1日100mg	ACE阻害薬に共通する事項参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ACE阻害薬に共通する事項参照、加えて本剤ではアロブリノールとの併用でStevens-Johnson症候群など過敏症状の発症が報告されている	ACE阻害薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
体内で活性代謝物およびカブトブリルに。腎排泄、尿中活性体排泄率60–70%、腎機能低下患者で最大血中濃度の上昇、半減期延長とAUC増加、2.6時間(遊離型カブトブリルとして)(25mg)		
一般名：デラブリル	製品名：アデカット	薬価：69.8円/30mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管高血圧症		
降圧薬としての用量	禁忌	
1日2回、1日用量30–60mg、最大用量1日120mg	ACE阻害薬に共通する事項参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
体内で活性代謝物デラブリラートへ。腎排泄、尿中活性体排泄率58.7%(24時間)、1.1時間		PATE-HT
一般名：ベナゼブリル	製品名：チバセン	薬価：66円/5mg
適応	高血圧以外の適応症	
高血圧症		
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回、5–10mg	ACE阻害薬に共通する事項参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
ACE阻害薬に共通する事項参照	ACE阻害薬に共通する事項参照	

代謝、排泄と半減期

体内で活性代謝物ベナゼプリラートへ。肝代謝および腎排泄、尿中活性体排泄率約20%（72時間）、腎機能低下患者で半減期延長とAUC増加、添付文書に半減期の記載なし

その他

非糖尿病性腎症の予後を改善するという臨床試験の報告がある

文献

ACCOMPLISH

一般名：シラザブリル

製品名：インヒベース

薬価：42.4円/0.5mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、0.5-1mg、最大用量2mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

体内で活性代謝物シラザブリラートへ。腎排泄、尿中活性体排泄率約70-80%（48時間）、腎機能低下患者で半減期延長とAUC増加、2.6時間（ α ）、52.6時間（ β ）

高血压以外の適応症

ACE阻害薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

その他文献

一般名：イミダブリル

製品名：タナトリル

薬価：78.4円/5mg

適応

高血圧症、腎実質性高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、5-10mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

体内で活性代謝物イミダブリラートへ。腎排泄、尿中活性体排泄率約25%（24時間）、腎機能低下患者で最高血中濃度上昇、半減期延長とAUC増加、8時間（10mg）

高血压以外の適応症

1型糖尿病の糖尿病性腎症

禁忌

ACE阻害薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

その他文献

一般名：テモカブリル

製品名：エースコール

薬価：89.9円/2mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、2-4mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

高血压以外の適応症禁忌

ACE阻害薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

代謝、排泄と半減期

体内で活性代謝物テモカブリラートへ。肝代謝および腎排泄、尿中活性体排泄率34%，しかし腎機能低下患者でも血中動態の変化は少ない。6.7時間(2.5mg)

その他

文献

一般名：キナブリル

製品名：コナン

薬価：61.1円/10mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、5–20mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

体内で活性代謝物キナブリラートへ。肝代謝および腎排泄、尿中活性代謝物排泄率30–40%，腎機能低下患者で最大血中濃度の上昇とAUC増加、18.8–22.5時間

高血圧以外の適応症

禁忌

ACE阻害薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

その他

文献

一般名：トランドラブリル

製品名：オドリック

薬価：77.2円/1mg

適応

高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、1–2mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝で活性代謝物トランドラブリラートへ。肝代謝および腎排泄、腎機能低下患者で最大血中濃度の上昇とAUC増加、18.0時間(1mg)

高血圧以外の適応症

禁忌

ACE阻害薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ACE阻害薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬に共通する事項参照

その他

文献

利尿薬

サイアザイド系利尿薬

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項

適応

降圧薬としての用量

添付文書上の用量では代謝系の副作用が出現する可能性が高く、基本的に1/2錠以下の投与が望ましい

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

痛風や糖代謝、電解質代謝への影響は低用量を厳守することによってある程度予防できる可能性がある。慎重投与として、進行した肝硬変（肝性昏睡の誘発）、副甲状腺機能亢進症などの高カリウム血症（カルシウム値の上昇）、重大な副作用として再生不良性貧血、壊死性血管炎、肺水腫、肺炎、無顆粒症、急性腎不全など

作用を减弱させる可能性がある併用

コレステラミン、非ステロイド系消炎鎮痛剤（降圧作用）、口サルタン（尿酸排泄を促進し、尿酸上昇を減弱）

代謝、排泄と半減期

血中動態と降圧効果の関連は明らかではない

高血圧以外の適応症

禁忌

無尿の患者、急性腎不全、本剤および類似化合物への過敏症既往、体液中のナトリウム欠乏を伴う低ナトリウム血症、低カリウム血症

他剤への重要な影響

リチウム血中濃度の上昇、血清カルシウム値を上昇させる薬剤の作用を増強、低カリウム血症によるジギタリスの作用の増強

作用を增强させる可能性がある併用

すべての降圧薬（降圧）、糖質副腎皮質ホルモン剤、グリチルリチン製剤（カリウムの低下を増強）

その他

文献

一般名：トリクロルメチアジド

製品名：フルイトラン

薬価：9.70円/1錠

適応

高血圧症、悪性高血圧

降圧薬としての用量

添付文書の記載は1日2~8mgとされているが、類似薬の臨床試験から推奨される用量は1日1mg以下（1/2錠）である

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

作用を减弱させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

腎排泄、尿中排泄率75%、半減期に関する記載は添付文書上なし

高血圧以外の適応症

心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症

禁忌

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

作用を增强させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

その他

文献

割線による1/2、1/4分割可能 NICS-EH

一般名：ヒドロクロロチアジド

製品名：ダイクロトライド

薬価：6.2円/25mg

適応

高血圧症、悪性高血圧

降圧薬としての用量

添付文書の記載は1日25~100mgとされているが、臨床試験から推奨される用量は1日12.5mg以下（1/2錠）である

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項に加えて、中毒性表皮壞死症の報告がある

作用を减弱させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

高血圧以外の適応症

心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症、薬剤（副腎皮質ホルモン、フェニルブタゾンなど）による浮腫

禁忌

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

作用を增强させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

代謝, 排泄と半減期	その他	文献
腎排泄, 尿中排泄率70%, 1.7時間(α), 13.1時間(β)	割線による1/2分割可能	LIFE, VALUE, ACCOMPLISHなど多くの臨床試験の併用薬として用いられている

一般名: ベンチルヒドロクロロチアジド	製品名: ベハイド	薬価: 5.9円/4mg
適応	高血圧以外の適応症	
高血圧症(本態性, 腎性など), 悪性高血圧	心性浮腫(うっ血性心不全), 腎性浮腫, 肝性浮腫	
降圧薬としての用量	禁忌	
添付文書の記載は1回4–8mg, 1日2回とされているが, 類似薬の臨床試験から推奨される用量は1日2mg以下(1/2錠)である	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響	
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項に加えて, 中毒性表皮壊死症の報告がある	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
代謝, 排泄と半減期	その他	文献
代謝, 排泄に関する情報は添付文書上記載されていない	割線による1/2分割可能	

一般名: インダパミド	製品名: ナトリックス	薬価: 13.2円/1mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症	なし	
降圧薬としての用量	禁忌	
添付文書上は1日2mgとされているが, 臨床試験から推奨される用量は0.5mgから1mgである	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響	
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
代謝, 排泄と半減期	その他	文献
肝代謝および腎排泄, 13.2時間(1mg)	割線による1/2分割可能	ADVANCE, PROGRESS, PATS, HYVET

一般名: メフルシド	製品名: バイカロン	薬価: 11.7円/25mg
適応	高血圧以外の適応症	
高血圧症(本態性, 腎性)	心性浮腫(うっ血性心不全), 腎性浮腫, 肝性浮腫	
降圧薬としての用量	禁忌	
添付文書の記載は1回25–50mg, 1日2回とされているが, 類似薬の臨床試験から推奨される用量は1日12.5mg以下(1/2錠)である	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響	
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	

作用を減弱させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、10-12時間(25mg)

作用を増強させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

その他文献

割線による1/2分割可能

一般名：クロルタリドン**製品名：ハイグロトン****薬価：12.1円/50mg**適応

高血圧症(本態性など)

高血圧以外の適応症

心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫

降圧薬としての用量

添付文書の記載は1日1回(あるいは隔日)50-100mgとされているが、臨床試験から推奨される用量は1日12.5mg以下(1/4錠)である。1/4は不可能なので、隔日投与などで少量投与を行う

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

禁忌

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項に加えて、アマンタジンの作用増強(排泄低下)(クロルタリドンの添付文書のみに記載されているが、他の利尿薬にもみられる可能性がある)

作用を増強させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項に加えて、シクロスボリンとの相互作用による尿酸上昇の増強(クロルタリドンの添付文書のみに記載されているが、他の利尿薬にもみられる可能性がある)

その他文献

割線による1/2分割可能

ALLHAT

代謝、排泄と半減期

腎排泄、44.1時間(β)

一般名：トリバミド**製品名：ノルモナール****薬価：17.3円/15mg**適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1回15mgを1日1-2回とされているが、類似薬の臨床試験から推奨される用量は、1日7.5mg以下(1/2錠)である

禁忌

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、添付文書上半減期に関する記載なし

その他文献**一般名：メチクラン****製品名：アレステン****薬価：20.6円/150mg**適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1回150mgを1日1-2回とされているが、類似薬の臨床試験から推奨される用量は、1日75mg以下(1/2錠)である

禁忌

サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>
サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照	サイアザイド系およびサイアザイド類似利尿薬に共通する事項参照
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>
肝代謝および腎排泄、添付文書上半減期に関する記載なし	割線による1/2分割可能

カリウム保持性利尿薬

一般名：トリアムテレン	製品名：トリテレン	薬価：11.5円/50mg
-------------	-----------	---------------

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回50mg（サイアザイド系、サイアザイド類似薬との併用が望ましい）

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ジクロフェナク、インドメタシンの併用で急性腎不全が報告されている。腎結石およびその既往歴のある患者ではトリアムテレン結石を形成するおそれがある

作用を減弱させる可能性がある併用

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、添付文書上半減期に関する記載なし

高血圧以外の適応症

うっ血性心不全、肝性浮腫、腎性浮腫

禁忌

無尿、急性腎不全、高カリウム血症、腎結石またはその既往、インドメタシン投与中、ジクロフェナク投与中、アステミゾール投与中、テルフェナジン投与中、腎障害

他剤への重要な影響

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬、ARB、カリウム製剤（血清カリウム値の上昇）

その他

文献

ループ利尿薬

一般名：フロセミド	製品名：ラシックス	薬価：17.0円/40mg
-----------	-----------	---------------

適応

悪性高血圧、腎性高血圧症、本態性高血圧症

降圧薬としての用量

1日1回、40–80mgとされているが、半減期の短い薬剤（<1時間）であり、腎機能低下時の降圧薬、利尿薬としての投与量、投与間隔は確立されていない。腎機能正常の高血圧の場合、降圧薬として用いられることは少ない

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

低カリウム血症、高尿酸血症など。再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症、赤芽球病、水疱性類天疱瘡、難聴、Stevens-Johnson症候群、皮膚粘膜眼症候群、間質性腎炎の報告あり

作用を減弱させる可能性がある併用

非ステロイド系抗炎症剤（降圧、利尿作用减弱）

高血圧以外の適応症

うっ血性心不全、肝性浮腫、月経前緊張症、腎性浮腫、尿路結石の排出促進、末梢血管障害の浮腫

禁忌

無尿、肝性昏睡、本剤および類似化合物への過敏症既往、体液中のナトリウム欠乏を伴う低ナトリウム血症、低カリウム血症

他剤への重要な影響

ジギタリス（低カリウム血症による作用の増強）、アスピリン（サリチル酸誘導体貯留）、アミノグリコシド系抗生物質（永続的な難聴、第8脳神経障害増強、腎毒性を増強）、プロペネシド（尿酸排泄作用减弱）、リチウム（リチウム毒性増強）、シスプラチン（永続的な難聴、聽覚障害が増強）、セファロスボリン系抗生物質（腎毒性増強）

作用を増強させる可能性がある併用

糖質副腎皮質ホルモン剤、グリチルリチン製剤（カリウムの低下を増強）、カルバマゼピン（症候性低ナトリウム血症の出現）、シクロスボリン（痛風の出現、シクロスボリンによる尿酸塩排泄阻害）

代謝、排泄と半減期

肝代謝（グルクロロン酸抱合）および腎排泄、0.35時間

その他文献

UKPDS（併用薬）

一般名：フロセミド徐放カプセル

製品名：オイテンシン

薬価：19.2円/40mg

適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1回40mg、1日1-2回

禁忌

フロセミドと同様

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

フロセミドと同様

他剤への重要な影響

フロセミドと同様

作用を減弱させる可能性がある併用

フロセミドと同様

作用を増強させる可能性がある併用

フロセミドと同様

代謝、排泄と半減期

肝代謝（グルクロロン酸抱合）および腎排泄、半減期に関する記載はなし

その他文献

UKPDS（併用薬）

アルドステロン拮抗薬

一般名：エプレレノン

製品名：セララ

薬価：90.9円/50mg

適応

高血圧症

高血圧以外の適応症

なし（海外で、心不全の予後を改善するという臨床試験の報告あり）

降圧薬としての用量

1日1回50mg、最大用量100mg

禁忌

本剤成分または含有成分で過敏症の既往歴、高カリウム血症（血清K値>5.0mEq/L）、蛋白尿を伴う糖尿病、微量アルブミン尿を伴う糖尿病、中等度以上の腎機能障害（クレアチニクリアランス50mL/分未満）、重度肝機能障害（Child-Pugh分類クラスCの肝硬変に相当）、カリウム製剤投与中、カリウム保持性利尿薬投与中、イトラコナゾール投与中、リトナビル投与中、ネルフィナビル投与中

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

重大な副作用は高カリウム血症。スピロノラクトンと異なり、女性化乳房などの性ホルモン関連の副作用は報告されていない

他剤への重要な影響

炭酸リチウム（他の利尿薬、ACE阻害薬との併用時にリチウム濃度が上昇）

作用を減弱させる可能性がある併用

CYP3A4を誘導する薬剤は血中濃度を低下させ、作用を減弱させる可能性がある。リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、セントジョンズワート含有食品、フェノバルビタールなど。非ステロイド性消炎鎮痛薬（降圧作用減弱）

作用を増強させる可能性がある併用

CYP3A4活性を阻害する薬剤は血中濃度を上昇させる。併用禁忌のイトラコナゾール、リトナビル、ネルフィナビルのほか、マクロライド系抗生物質、他のアゾール系抗真菌剤など。ACE阻害薬、ARB、シクロスボリン、タクロリムスの併用は血中カリウム上昇を増強

代謝、排泄と半減期

肝代謝（CYP3A4）、中等度の肝機能障害患者でAUCの増加、尿中未変化体排泄率2.5%、5.0時間（100mg）

その他文献

心不全の予後を改善

一般名：スピロノラクトン

製品名：アルダクトンAなど

薬価：50.9円/50mg

適応

高血圧症（本態性、腎性等）、原発性アルドステロン症

高血圧以外の適応症

うっ血性心不全、腎性浮腫、肝性浮腫、悪性腫瘍に伴う浮腫

降圧薬としての用量

主として併用で1日1回25–50mg（高血圧患者における用量設定に関する研究は少ない）。添付文書上の用量は1日50–100mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

副作用は重篤なものとして高カリウム血症や低ナトリウム血症、代謝性アシドーシス、急性腎不全、そのほか女性化乳房、多毛、無月経など性ホルモン環境の異常によると考えられる副作用が発現することがある。使用成績調査がなく、正確な頻度は不明

作用を減弱させる可能性がある併用

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、1.8時間（ α ）、11.6時間（ β ）

禁忌

急性腎不全、無尿、高カリウム血症、アジソン病、タクロリムス投与中、ミトタン投与中、本剤成分または含有成分で過敏症の既往歴

他剤への重要な影響

ジゴキシン、メチルジゴキシンの血中濃度上昇、ミトタンの作用を阻害

作用を増強させる可能性がある併用

ACE阻害薬、ARB、カリウム製剤、タクロリムス（血清カリウム値の上昇）、コレステラミン（併用で代謝性アシドーシスの出現）

その他

文献

心不全の予後を改善。50mg
錠は割線（1/2）あり

β 遮断薬

β 遮断薬に共通する事項

適応

高血圧以外の適応症

降圧薬としての用量

禁忌

気管支喘息、糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス、高度・有症状の徐脈、房室ブロック（II, III）、洞房ブロック、洞不全症候群、心原性ショック、肺高血圧による右心不全、うっ血性心不全（一部の薬剤では心不全患者の予後を改善することが臨床試験により示されている）、重症の末梢循環障害（壊疽、閉塞性動脈硬化症など）、未治療の褐色細胞腫、妊婦

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

他剤への重要な影響

重篤な副作用として心不全症状の顕在化、悪化、伝導障害、気管支喘息症状の誘発、悪化。気管支喘息、末梢循環障害（閉塞性動脈硬化症など）、糖尿病、肝機能低下、腎機能低下、伝導障害、徐脈、甲状腺中毒症、手術前48時間（非心臓手術患者ではメリットが少なく、リスクが高いとされる）での慎重投与。

クロニジン、グアナベンズ離脱症状の増悪

添付文書上、冠攣縮性狭心症は禁忌（異型狭心症は慎重投与）とされているが、器質的狭窄の合併例など、投与の必要があれば、Ca拮抗薬と併用して慎重投与する

作用を減弱させる可能性がある併用

作用を増強させる可能性がある併用

非ステロイド系抗炎症薬

ペラバミル、ジルチアゼム、I群抗不整脈薬、ジギタリス製剤（伝導障害）

代謝、排泄と半減期

その他

文献

各薬剤の項を参照

β_1 選択性、ISA(−)

一般名：アテノロール

製品名：テノーミン

薬価：111.5円/50mg

適応

高血圧以外の適応症

本態性高血圧症（軽症、中等症）

狭心症、頻脈性不整脈

降圧薬としての用量

1日1回25–50mg、最大用量100mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β 遮断薬に共通する事項に加えて、血小板減少性紫斑病の報告がある

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

腎排泄、10.8時間(50mg)

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照(妊婦は慎重投与)。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく、慎重投与とされているが、投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

その他**文献**

LIFE, ASCOTなど

一般名：ビソプロロール

製品名：メインテート

薬価：152.7円/5mg

適応

本態性高血圧症(軽症、中等症)

高血圧以外の適応症

狭心症、心室性期外収縮

降圧薬としての用量

1日1回5mg

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく、慎重投与とされているが、投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

その他**文献**

海外の臨床試験で心不全の予後を改善することが報告されている

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

腎排泄、8.6時間(5mg)

一般名：ベタキソロール

製品名：ケルロング

薬価：154.3円/10mg

適応

本態性高血圧症(軽症、中等症)、腎実質性高血圧

高血圧以外の適応症

狭心症

降圧薬としての用量

1日1回5–10mg、最大用量20mg、腎実質性高血圧では添付文書上1日1回5mg、最大用量10mg

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく、慎重投与とされているが、投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

その他**文献****副作用、その他の用法上の注意、慎重投与**

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、尿中未変化体排泄率16%、腎機能低下患者でAUC増加、最高血中濃度増加

*ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

一般名：メトプロロール	製品名：セロケン，ロプレソール	薬価：29.8円/40mg
-------------	-----------------	---------------

適応

本態性高血圧症（軽症，中等症），腎実質性高血圧

降圧薬としての用量

1日60–120mg, 1日3回, 最大用量240mg

副作用，その他の用法上の注意，慎重投与

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

代謝，排泄と半減期

肝代謝（CYP2D6），尿中未変化体排泄3–5%，2.8時間（40mg）

高血圧以外の適応症

狭心症，頻脈性不整脈

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく，慎重投与とされているが，投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

その他

[文献](#)

一般名：メトプロロール徐放錠	製品名：セロケンL, ロプレソールSR	薬価：137.9円/120mg
----------------	---------------------	-----------------

適応

本態性高血圧症（軽症，中等症），腎実質性高血圧

降圧薬としての用量

1日1回120mg

副作用，その他の用法上の注意，慎重投与

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項に加えてリファンピシン（血中濃度低下）

高血圧以外の適応症

狭心症，頻脈性不整脈

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく，慎重投与とされているが，投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項に加えて，本剤はCYP2D6で代謝されるため，この酵素活性を阻害する薬剤の併用時に血中濃度が上昇する（抗ヒスタミン薬，パロキセチンなどのSSRI, シメチジン，アミオダロン，プロパフェノンなど）。アミオダロンは薬力学的に，伝導抑制を増強する相互作用も有する

その他

[文献](#)

代謝，排泄と半減期

肝代謝（CYP2D6），尿中未変化体排泄3–5%，半減期は添付文書上記載なし

心不全の予後を改善するという臨床試験の報告がある

β_1 選択性，ISA (+)		
-----------------------	--	--

一般名：アセブトロール	製品名：アセタノール	薬価：32.0円/200mg
-------------	------------	----------------

適応

本態性高血圧症（軽症，中等症）

降圧薬としての用量

1日200–400mg, 1回または2回

副作用，その他の用法上の注意，慎重投与

β 遮断薬に共通する事項参照

高血圧以外の適応症

狭心症，頻脈性不整脈

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく，慎重投与とされているが，投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、未変化体（半減期 3.4時間）と同様の活性をもつN-アセチル体（6.7時間）に代謝される

一般名：セリプロロール**製品名：セレクトール****薬価：149.9円/200mg**適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）、腎実質性高血圧

降圧薬としての用量

1日1回100–200mg、最高用量は400mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β 遮断薬に共通する事項参照。 β_2 刺激性ではあるが、気管支喘息、末梢循環障害（閉塞性動脈硬化症など）の症状悪化には留意する

作用を減弱させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、尿中未変化体率6.7%（200mg）、4.8時間（200mg）

非選択性、ISA（-）**一般名：プロプラノロール****製品名：インデラル****薬価：31.6円/20mg**適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）

降圧薬としての用量

1日30–60mg、1日3回に分割、最大用量1日120mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

非ステロイド系抗炎症薬（降圧効果減弱）、リファンビシン（血中濃度低下）

代謝、排泄と半減期

肝代謝、3.9時間（20mg）

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

その他文献高血圧以外の適応症

狭心症

禁忌

β 遮断薬に共通する事項参照。異型狭心症は禁忌。 β_1 選択性 β 遮断薬は添付文書上かならずしも気管支喘息に禁忌ではなく、慎重投与とされているが、投与が絶対的な適応でなければ避けるほうが望ましい

他剤への重要な影響

β 遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項参照

その他文献

β_2 受容体刺激による血管拡張作用

高血圧以外の適応症

期外収縮、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動のレートコントロール、発作性心房細動の予防、洞性頻脈、褐色細胞腫手術時

禁忌

β 遮断薬に共通する事項に加えて、異型狭心症、リザトリップタン投与中、チオリダジン投与中は禁忌

他剤への重要な影響

クロニジン（離脱症状の増悪）、リドカイン（血中濃度上昇）、クロルプロマジン（血中濃度上昇）、フルファリン（血中濃度上昇）。本剤は主としてCYP2C19、2D6、1A2で代謝され、フルファリンのように、これらの酵素で代謝される薬剤とは相互作用を有する可能性がある

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬に共通する事項に加えて、シメチジン（血中濃度上昇）、エルゴタミン（ASOの症状悪化）

その他文献

MRC 軽症高血圧研究

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

一般名：徐放性プロプラノロール	製品名：インデラルLA	薬価：102.0円/60mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症（軽症，中等症）	狭心症	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回60mg、最高用量120mg	プロプラノロールと同様	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
プロプラノロールと同様	プロプラノロールと同様	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
プロプラノロールと同様	プロプラノロールと同様	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
肝代謝、10時間（60mg）		
一般名：ニプラジロール	製品名：ハイパジール	薬価：77.8円/6mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症（軽症、中等症）	狭心症	
降圧薬としての用量	禁忌	
1回3-6mg、1日2回	β遮断薬に共通する事項に加えて、異型狭心症、PDE5阻害薬（シルデナフィル、バルデナフィルなど）投与中	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
β遮断薬に共通する事項参照	β遮断薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
β遮断薬に共通する事項参照	β遮断薬に共通する事項に加えて、PDE5阻害薬（シルデナフィル、バルデナフィルなど）NOによる血管拡張を増強	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
肝代謝（グルクロン酸抱合）、3.7時間	NOドナーであり、NOによる血管拡張作用を有する	
一般名：チリソロール	製品名：セレカル	薬価：95.0円/10mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症（軽症、中等症）	狭心症	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日1回10-20mg、最高用量30mg	β遮断薬に共通する事項参照	
副作用、その他の用法上の注意、慎重投与	他剤への重要な影響	
β遮断薬に共通する事項参照	β遮断薬に共通する事項参照	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
β遮断薬に共通する事項参照	β遮断薬に共通する事項参照	
代謝、排泄と半減期	その他	文献
腎排泄、尿中未変化体排泄率48%，12.0時間（20mg）、腎機能の低下により半減期延長、最高血中濃度上昇		
一般名：ナドロール	製品名：ナディック	薬価：108.4円/60mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症（軽症、中等症）	狭心症、頻脈性不整脈	

降圧薬としての用量

1日1回30–60mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与 β 遮断薬に共通する事項参照作用を減弱させる可能性がある併用 β 遮断薬に共通する事項参照代謝、排泄と半減期腎排泄、2.5時間(α)、17.4時間(β)、腎機能低下例では半減期の延長禁忌 β 遮断薬に共通する事項に加えて、異型狭心症、慢性閉塞性肺疾患で禁忌他剤への重要な影響 β 遮断薬に共通する事項参照作用を増強させる可能性がある併用 β 遮断薬に共通する事項参照その他文献**非選択性、ISA(+)**

一般名：カルテオロール

製品名：ミケラン

薬価：21.6円/5mg

適応

本態性高血圧症(軽症、中等症)

高血圧以外の適応症

狭心症、心臓神経症、不整脈、小児用はファロー四徴症におけるチアノーゼ発作時

降圧薬としての用量

1日10–15mg、1日2回または3回、最高用量30mg

禁忌 β 遮断薬に共通する事項参照副作用、その他の用法上の注意、慎重投与 β 遮断薬に共通する事項参照作用を減弱させる可能性がある併用 β 遮断薬に共通する事項に加えて、リファンピシン(血中濃度低下)他剤への重要な影響 β 遮断薬に共通する事項参照作用を増強させる可能性がある併用 β 遮断薬に共通する事項に加えて、本剤はCYP2D6で代謝されるため、この酵素活性を阻害する薬剤の併用時に血中濃度が上昇する(抗ヒスタミン薬、パロキセチンなどのSSRI、シメチジン、アミオダロン、プロパフェノンなど)。アミオダロンは薬力学的に、伝導抑制を増強する相互作用も有する代謝、排泄と半減期

肝代謝(CYP2D6)および腎排泄(未変化体として70%が排泄)、5.0時間

その他文献

一般名：カルテオロール徐放カプセル

製品名：ミケランLA

薬価：82.1円/15mg

適応

本態性高血圧症(軽症、中等症)

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1日1回15mg、最高用量30mg

禁忌

カルテオロールと同様

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

カルテオロールと同様

他剤への重要な影響

カルテオロールと同様

作用を減弱させる可能性がある併用

カルテオロールと同様

作用を増強させる可能性がある併用

カルテオロールと同様

代謝、排泄と半減期

肝代謝(CYP2D6)および腎排泄(未変化体として70%が排泄)、7–10時間(5mg)

その他文献

*ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

一般名：ピンドロール

製品名：カルビスケン

薬価：20.1円/5mg

適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）

降圧薬としての用量

1日15mg、1日3回、最高用量30mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項に加えて、リファンピシン（血中濃度低下）

代謝、排泄と半減期

肝代謝（CYP2D6）、3.7時間（5mg）

高血圧以外の適応症

洞性頻脈、狭心症

禁忌

β遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

β遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項に加えて、本剤はCYP2D6で代謝されるため、この酵素活性を阻害する薬剤の併用時に血中濃度が上昇する（抗ヒスタミン薬、パロキセチンなどのSSRI、シメチジン、アミオダロン、プロパフェノンなど）。アミオダロンは薬力学的に、伝導抑制を増強する相互作用も有する

その他

文献

一般名：ピンドロール徐放剤

製品名：プロクリンL

薬価：75.9円/15mg

適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）

降圧薬としての用量

1日1回15mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

ピンドロールと同様

作用を減弱させる可能性がある併用

ピンドロールと同様

高血圧以外の適応症

なし

禁忌

ピンドロールと同様

他剤への重要な影響

ピンドロールと同様

作用を増強させる可能性がある併用

ピンドロールと同様

その他

文献

肝代謝（CYP2D6）、半減期は記載なし

一般名：ベンブトロール

製品名：ベータブレシン

薬価：51.2円/20mg

適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）

降圧薬としての用量

1回10mg、1日2回、最高用量40mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β遮断薬に共通する事項参照

高血圧以外の適応症

なし

禁忌

β遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

β遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項参照

その他

文献

肝代謝、1.0時間

一般名：ボピンドロール

製品名：サンドノーム

薬価：131.8円/1mg

適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1日1回1mg、最高用量2mg

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与 β 遮断薬に共通する事項参照作用を減弱させる可能性がある併用 β 遮断薬に共通する事項参照代謝、排泄と半減期肝代謝および腎排泄、活性代謝物に変換される。3.4時間 (α)、14.4時間 (β)禁忌 β 遮断薬に共通する事項参照他剤への重要な影響 β 遮断薬に共通する事項参照作用を増強させる可能性がある併用 β 遮断薬に共通する事項参照その他文献 **α 遮断薬** α 遮断薬に共通する事項適応高血圧以外の適応症降圧薬としての用量禁忌副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

過敏症

投与初期や增量後の起立性低血圧に伴う症状が現れることがある。それを避けるために体位を変えた血圧測定、眠前の投与などが必要になる場合がある。PDE5阻害薬との併用時は低用量から開始し、慎重に用量調節を行う。重篤な副作用として、血圧の一過性の低下に伴う失神、意識消失、狭心症が報告されている

他剤への重要な影響作用を減弱させる可能性がある併用作用を増強させる可能性がある併用

PDE5阻害薬

代謝、排泄と半減期その他文献

各薬剤の項を参照

一般名：ドキサゾシン**製品名：カルデナリン****薬価：70.0円/2mg**適応高血圧以外の適応症

高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症

なし

降圧薬としての用量禁忌

1日1回1–4mg、最高用量8mg。褐色細胞腫では最高用量12mg

 α 遮断薬に共通する事項参照副作用、その他の用法上の注意、慎重投与他剤への重要な影響

α 遮断薬に共通する事項参照。起立性低血圧に伴う症状の発現は、長時間作用型のカルデナリンでは、短時間作用型と比較すると少ないといわれる

添付文書上記載なし

作用を減弱させる可能性がある併用作用を増強させる可能性がある併用

添付文書上記載なし

 α 遮断薬に共通する事項参照代謝、排泄と半減期その他文献

肝代謝、尿中未変化体排泄率<1%、12.9時間(2mg)

ALLHAT

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

一般名：ブナゾシン 製品名：デタントール 薬価：82.0円/3mg

適応

高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1日3-6mgを2-3回に分割、最大用量1日12mg

禁忌

α 遮断薬に共通する事項参照

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

α 遮断薬に共通する事項参照。短時間作用型は副作用が出現しやすく、原則として長時間作用型を使用すべきである

他剤への重要な影響

添付文書上記載なし

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上記載なし

作用を増強させる可能性がある併用

α 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝、尿中未変化体排泄率<1%，1.5時間(2mg)

その他

文献

一般名：ブナゾシン徐放錠

製品名：デタントールR

薬価：100.3円/6mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症

高血圧以外の適応症

前立腺肥大に伴う排尿障害

降圧薬としての用量

1日1回3-9mg

禁忌

ブナゾシンと同様

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

α 遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

ブナゾシンと同様

作用を減弱させる可能性がある併用

ブナゾシンと同様

作用を増強させる可能性がある併用

ブナゾシンと同様

代謝、排泄と半減期

肝代謝、尿中未変化体排泄率<1%，6.0時間(腎機能障害者で血中濃度上昇、AUCの報告あり)

その他

文献

一般名：テラゾシン

製品名：ハイトラシン、バソメット

薬価：78.7円/2mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症

高血圧以外の適応症

前立腺肥大に伴う排尿障害

降圧薬としての用量

1回0.5-2mg、1日2回、最高用量1日8mg

禁忌

α 遮断薬に共通する事項参照

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

α 遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

添付文書上記載なし

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上記載なし

作用を増強させる可能性がある併用

α 遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、尿中未変化体排泄率12.9%，1.8時間(2mg)

その他

文献

一般名：プラゾシン

製品名：ミニプレス

薬価：15.4円/1mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症

高血圧以外の適応症

前立腺肥大に伴う排尿障害

降圧薬としての用量	禁忌
1日 1.5–6mg, 2–3回に分割	バルデナフィル投与中
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響
α遮断薬に共通する事項参照。本剤はバルデナフィルは併用禁忌。 短時間作用型であり, 特殊な場合を除き推奨されない	添付文書上記載なし
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用
添付文書上記載なし	α遮断薬に共通する事項参照。本剤はバルデナフィルは併用禁忌, シルデナフィルは併用注意
代謝, 排泄と半減期	その他
肝代謝, 尿中未変化体排泄率 2.4 %, 2時間 (2mg)	UKPDS 併用薬
一般名 : ウラピジル	製品名 : エブランチル
	薬価 : 36.6円/30mg
適応	高血圧以外の適応症
本態性高血圧症, 腎性高血圧症, 褐色細胞腫による高血圧症	前立腺肥大に伴う排尿障害, 神経因性膀胱に伴う排尿困難
降圧薬としての用量	禁忌
1日 30–120mg, 2回に分割	バルデナフィル投与中
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響
α遮断薬に共通する事項参照。本剤はバルデナフィルは併用禁忌	添付文書上記載なし
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用
添付文書上記載なし	α遮断薬に共通する事項参照。本剤はバルデナフィルは併用禁忌, シルデナフィルは併用注意。CYP2D6で代謝されるため, この 酵素で代謝される他の薬剤とは相互作用が存在する可能性がある が, 添付文書上記載はない
代謝, 排泄と半減期	その他
肝代謝 (CYP2D6) および腎排泄, 尿中未変化体排泄率 12 %, 3.8 時間 (30mg)	文献

* ジェネリックの製品名は省略, 新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

αβ遮断薬

一般名：カルベジロール

製品名：アーチスト

薬価：82.0円/10mg錠

適応

本態性高血圧、腎実質性高血圧

高血圧以外の適応症

狭心症、基礎治療を受けている慢性心不全患者

降圧薬としての用量

1日1回、10–20mg

禁忌

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β遮断薬に共通する事項参照

β遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

CYP2D6、2C9、3A4、1A2、2E1で代謝されるので、これらの酵素で代謝される薬剤と相互作用を有する可能性がある。シクロスボリンの血中濃度上昇

作用を減弱させる可能性がある併用

リファンビシン（血中濃度低下）

作用を増強させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項参照、ほかにアミオダロン、ヒドララジン（血中濃度上昇による作用増強）

代謝、排泄と半減期

肝代謝（CYP2D6、2C9、3A4、1A2、2E1）、3.6時間（10mg）、7.7時間（20mg）。尿中未変化体排泄率は1%以下であるが血清Cr 6mg/dL以上で最大血中濃度上昇。心不全では最高血中濃度上昇、AUC増加

その他

文献

α遮断：β遮断=1:8

一般名：アモスラロール

製品名：ローガン

薬価：56.4円/20mg

適応

本態性高血圧、褐色細胞腫による高血圧

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1回10mg、1日2回、最高用量1日60mg

禁忌

β遮断薬に共通する事項参照

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

β遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、4–6時間

その他

文献

α遮断：β遮断=1:1

一般名：アロチノロール

製品名：アルマール

薬価：57.5円/20mg

適応

本態性高血圧症（軽症、中等症）

高血圧以外の適応症

狭心症、頻脈性不整脈、本態性振戦

降圧薬としての用量

1回5mg、1日2回、最高用量1日30mg

禁忌

β遮断薬に共通する事項参照

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

β遮断薬に共通する事項参照

他剤への重要な影響

β遮断薬に共通する事項参照

作用を減弱させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項参照

作用を増強させる可能性がある併用

β遮断薬に共通する事項参照

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、10時間（10mg）

その他

文献

α遮断：β遮断=1:8

一般名：ラベタロール	製品名：トランデート	薬価：36.6円/100mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
本態性高血圧、褐色細胞腫による高血圧	なし	
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1回50mg、1日3回、最高用量450mg	β 遮断薬に共通する事項参照	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
β 遮断薬に共通する事項に加えて、重篤な副作用として重篤な肝障害、SLE様作用、ミオパシーが報告されている	β 遮断薬に共通する事項に加えて、三環系抗うつ薬との併用で振戦が現れやすい	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
β 遮断薬に共通する事項参照	β 遮断薬に共通する事項参照、他にシメチジン（血中濃度上昇による）	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>
肝代謝および腎排泄、17.7時間（100mg）	α 遮断： β 遮断＝1:5	
一般名：ペバントロール	製品名：カルバン	薬価：45.4円/50mg
<u>適応</u>	<u>高血圧以外の適応症</u>	
高血圧症	なし	
<u>降圧薬としての用量</u>	<u>禁忌</u>	
1回50mg、1日2回、最高用量200mg	β 遮断薬に共通する事項参照	
<u>副作用、その他の用法上の注意、慎重投与</u>	<u>他剤への重要な影響</u>	
β 遮断薬に共通する事項参照	β 遮断薬に共通する事項参照	
<u>作用を減弱させる可能性がある併用</u>	<u>作用を増強させる可能性がある併用</u>	
β 遮断薬に共通する事項参照	β 遮断薬に共通する事項参照	
<u>代謝、排泄と半減期</u>	<u>その他</u>	<u>文献</u>
肝代謝、1.4時間（ α ）、9.7時間（ β ）（100mg）	α 遮断： β 遮断＝1:14、Ca拮抗作用も有する	

* ジェネリックの製品名は省略、新薬以外の薬価は2008年4月1日現在

中枢性交感神経抑制薬

一般名：クロニジン

製品名：カタプレス

薬価：10.4円/0.15mg

適応

本態性高血圧症、腎性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1回0.075–0.15mg、1日3回

禁忌

過敏症以外、添付文書上は特に記載なし

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

重篤なものとして錯乱、幻覚が報告されている。その他口渴、眠気、めまいなど

他剤への重要な影響

中枢神経抑制薬（作用増強）

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上記載なし

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬（中止後のリバウンド現象増強）、中枢神経抑制薬（作用増強）

代謝、排泄と半減期

腎排泄、10時間（0.3mg）

その他

文献

一般名：グアナベンズ

製品名：ワイテンス

薬価：17.5円/2mg

適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1回2mg、1日2回

禁忌

過敏症以外、添付文書上は特に記載なし

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

口渴、眠気、めまいなど

他剤への重要な影響

中枢神経抑制薬（作用増強）

作用を減弱させる可能性がある併用

セチブチリン、ミアンセリン

作用を増強させる可能性がある併用

β 遮断薬（中止後のリバウンド現象増強）、中枢神経抑制薬（作用増強）

代謝、排泄と半減期

肝代謝および腎排泄、5.4時間（8mg）

その他

文献

一般名：メチルドパ

製品名：アルドメット

薬価：9.7円/250mg

適応

高血圧症（本態性、腎性など）、悪性高血圧

高血圧以外の適応症

なし

降圧薬としての用量

1日250–2000mg、1–3回に分割

禁忌

過敏症、急性、慢性肝炎、肝硬変の活動期、非選択性モノアミン酸化酵素阻害薬投与中

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

非選択性モノアミン酸化酵素阻害薬は併用禁忌（高血圧クリーゼの出現）、重大な副作用として溶血性貧血、SLE様症状、心筋炎、血管炎などの薬剤誘発性炎症、舞蹈病アテーゼ様不随意運動、ベル麻痺などの神経症状などが報告されている

他剤への重要な影響

添付文書上は特に記載なし

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上は特に記載なし

作用を増強させる可能性がある併用

レボドパ

代謝、排泄と半減期

腎排泄、2.1時間

その他

文献

尿の変色、クームテスト陽性など

血管拡張薬

一般名：ヒドララジン

製品名：アプレゾリン

薬価：9.7円/50mg

適応

本態性高血圧症、妊娠中毒症による高血圧症

降圧薬としての用量

1回20~50mg、1日30~200mg、3~4回に分服

高血圧以外の適応症

なし

禁忌

虚血性心疾患、拡張不全による心不全、僧帽弁狭窄による心不全、大動脈弁狭窄による心不全、収縮性心膜炎による心不全、心タンポナーデによる心不全、肥大型心筋症による心不全、甲状腺中毒症、高心拍出性心不全、高度頻脈、肺高血圧症による右心不全、解離性大動脈瘤、頭蓋内出血急性期、過敏症の既往

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

急速な血管拡張に伴う副作用（頭痛、心悸亢進）のほか、重大な副作用として劇症肝炎、重篤な肝障害、SLE様症状、発熱、紅斑、関節痛、胸部痛、うっ血性心不全、狭心症発作、麻痺性イレウス、呼吸困難、急性腎不全、溶血性貧血、汎血球減少、多発性神経炎、血管炎。虚血性心疾患の既往歴、うっ血性心不全またはその既往歴をもつ患者には慎重投与

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上は特に記載なし

他剤への重要な影響

添付文書上は特に記載なし

代謝、排泄と半減期

肝代謝、半減期は添付文書上記載なし

作用を増強させる可能性がある併用MAO阻害薬（血中濃度上昇）、 β 遮断薬（血中濃度の上昇および反射性頻脈の抑制による降圧作用増強）フェノチアジン系精神薬（降圧作用増強）**その他**

アセチル化による代謝は遺伝的多様性があり、日本人は90%が速く代謝されるラピッドアセチラーゼである

文献

一般名：トドラジン

製品名：アピラコール

薬価：6.4円/30mg

適応

本態性高血圧症

降圧薬としての用量

1日30~120mgを3~4回に分割

高血圧以外の適応症

なし

禁忌

重度肝機能検査値異常、リウマチ性僧帽弁膜症、虚血性心疾患、心不全、頭蓋内出血急性期、過敏症の既往

副作用、その他の用法上の注意、慎重投与

急速な血管拡張に伴う副作用（頭痛、心悸亢進）のほか、重大な副作用として、劇症肝炎、重篤な肝障害、SLE様症状。虚血性心疾患の既往歴、うっ血性心不全の既往歴をもつ患者には慎重投与

作用を減弱させる可能性がある併用

添付文書上は特に記載なし

他剤への重要な影響

添付文書上は特に記載なし

代謝、排泄と半減期**作用を増強させる可能性がある併用**

添付文書上は特に記載なし

一般名：ブドラジン

製品名：ブテラジン

薬価：28.7円/60mg

適応

本態性高血圧症

高血圧以外の適応症

なし

その他**文献**

降圧薬としての用量	禁忌
1日 90–180mg, 2–3回に分割	虚血性心疾患, 心不全, リウマチ性僧帽弁疾患, 頭蓋内出血急性期, 本剤成分または含有成分で過敏症の既往歴
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響
急速な血管拡張に伴う副作用（頭痛, 心悸亢進）のほか, 重大な副作用として, SLE様症状。虚血性心疾患の既往歴, うっ血性心不全の既往歴をもつ患者には慎重投与	添付文書上は特に記載なし
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用
添付文書上は特に記載なし	添付文書上は特に記載なし
代謝, 排泄と半減期	その他
肝で代謝され一部ヒドララジンとなる。肝代謝および腎排泄, 半減期は添付文書上記載なし	文献

一般名 : カドララジン	製品名 : カドラール	薬価 : 58.3円/10mg
適応	高血圧以外の適応症	
本態性高血圧症, 腎性高血圧症	なし	
降圧薬としての用量	禁忌	
1日 1回 10mg, 最高用量 20mg	ヒドララジンの項を参照	
副作用, その他の用法上の注意, 慎重投与	他剤への重要な影響	
ヒドララジンの項を参照	添付文書上は特に記載なし	
作用を減弱させる可能性がある併用	作用を増強させる可能性がある併用	
添付文書上は特に記載なし	添付文書上は特に記載なし	
代謝, 排泄と半減期	その他	文献
腎排泄, 尿中未変化体排泄率約 70 %, 2.2 時間 (10mg)		